

令和2年6月8日発行 (第55号)

岩谷医院会報  
第55号

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (心臓血管外科名誉専門医)  
副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)  
ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

## 新型コロナウイルス感染症の猛威、世界に広がる

令和2年5月25日、日本の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が全面解除されました。『流行はほぼ収束』との安倍首相の表明ですが、まだまだ油断はできません。経済の復興を目指し、細心の感染予防対策をしながら、日常生活も戻していくという難しい選択ですが、治療法が見つかるまでは、これからもストレスが続くそうです。一方、世界の感染拡大は今もなお続いており、人類は大変な危機に直面しています。この100年に一度とも言われる新型コロナウイルス感染流行。記憶にとどめるためにも、その経過を少しまとめてみました。

2019年12月末に中国の湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎が、新型コロナウイルスが原因であることが判明、以来その感染の猛威は、日本及び全世界に拡大しました。

### 令和2年(2020年)

1月15日	日本国内最初の症例の報告(武漢市に渡航歴あり)	4月8日	福島県の感染者数29人 武漢市都市封鎖を解除(約2か月半ぶり)
1月23日	武漢市都市封鎖	4月10日	世界の感染者数10万人突破 日本国内の感染者数6176人
1月29日	武漢市から日本へのチャーター便帰国者第一便(206人)が到着した(うち5人がPCR陽性であった)	4月14日	米国の感染者数58万人超え、日本8174人
1月30日	中国での感染者数 7711名、死亡170名に對し、日本での感染者数は9名であった。	4月15日	福島県の感染者数40人 世界の感染者数200万人を突破
2月5日	横浜港に到着したクルーズ船、ダイヤモンドプリンセス号の船内で新型コロナウイルス検査の陽性者10人が確認された。	4月16日	緊急事態宣言(日本)の対象地域が全都道府県に拡大される
2月28日	北海道の鈴木知事が新型コロナウイルス感染拡大に對する独自の緊急事態宣言を出す。北海道の感染者数63人	4月19日	世界の感染者数234万人を突破、死者16万人超
3月7日	福島県内に1例目の感染者	4月23日	岡江久美子さん、肺炎で死去
3月10日	世界の感染者数(死者数)中国8万0778	4月28日	世界の感染者数300万人突破、米国も100万人を突破
		3月11日	(3158)、韓国7755(60)、米国972(28)、フランス1784(33)、ドイツ1437(2)イタリヤ1万0149(631)スペイン1695(36)
		3月13日	世界保健機構(WHO)は新型コロナウイルスの流行をパンデミックと表明
		3月23日	日本国内の感染者数568人 死者12人
		3月24日	トランプ米大統領が国家非常事態宣言
		3月26日	米国の感染者数3万人突破 イタリヤ約6万人
		3月29日	東京オリンピック、パラリンピック1年延期
		4月3日	米国の感染者数8万3507人となり、中国(8万1782人)、イタリ(8万589人)を抜き世界最多に。日本1399人(クルーズ船を除く)
		4月7日	志村けんさん死去 東京都の感染者数430人
		4月7日	プロ野球、サッカーJリーグ開幕延期となる
		4月7日	世界の感染者数100万人突破 死者5万人超
		4月7日	日本は2737人(クルーズ船を除く)
		4月7日	日本政府は緊急事態宣言を東京、大阪、神奈川、千葉、埼玉、兵庫、福岡など7都府県に発令。日本国内4441人
		4月7日	福島県の感染者数29人 武漢市都市封鎖を解除(約2か月半ぶり)
		4月10日	世界の感染者数10万人突破 日本国内の感染者数6176人
		4月14日	米国の感染者数58万人超え、日本8174人
		4月15日	福島県の感染者数40人 世界の感染者数200万人を突破
		4月16日	緊急事態宣言(日本)の対象地域が全都道府県に拡大される
		4月19日	世界の感染者数234万人を突破、死者16万人超
		4月23日	岡江久美子さん、肺炎で死去
		4月28日	世界の感染者数300万人突破、米国も100万人を突破
		4月28日	福島県の感染者数70人 国内総数13892人

5月6日 世界 感染者366万2691名、死者 25万

7239名

日本 感染者1万5374名、死者 566名

5月8日 福島県の感染者数 81名

5月13日 大相撲力士 勝武士さんが感染で死去

5月14日 緊急事態宣言、39県で解除

5月17日 南米、中東でも感染者数が急増、ペルーとインドで中国を抜く。サウジアラビアでも感染者数3万人越え

5月20日 高校野球 夏の甲子園中止となる。世界の感染者数 約478万人

5月25日 日本緊急事態宣言 全面解除

主な国の感染者数(5月25日の時点)

米国 感染者164万3499人 死者 9万7722人

ブラジル 36万3211人 2万2666人

ロシア 35万3427人 3633人

イギリス 26万916人 3万6875人

スペイン 23万5772人 2万8752人

イタリア 22万9858人 3万2785人

ドイツ 18万338人 8287人

日本国内 感染者1万6630人 死者852人

(クルーズ船を除く)

福島県 81人



※防護服(レインコート)も用意した  
5月10日の休日当番医(10名来院)



\*緊急事態宣言は全面解除されましたが、感染の第2波、第3波が起ることが予想されます。日常での感染予防対策を引き続き継続しましょう。(院長)

### 患者さんからの寄稿

## ミニSL「出発進行！」

信夫の杜鉄道代表 小原 治さん

線路や信号の設置、車両の連結、SLへの点火と火力調節：ヨシ！ ミニ鉄道運行の準備完了。今日もイベントでのミニ鉄道に早くから子供連れの皆さんが沢山並んで列を作っているね。

「一番乗りの子供達が、もう車両に乗り「わくわく」しながら出発を待っている。いよいよ出発進行だ！ 「ブー」駅長さんが発車ベルを鳴らし「発車！」と大きな声で言う。運転士の私が「ピー」とホイッスルを吹き汽笛を「ポー」と鳴らしスロットルを少し回す。するとミニSLは「シュッシュ」と蒸気を出しながらゆつくりと走り出す。「今日もSLの調子は良さそうだ。燃料(LPガス)の火力加減も良く、蒸気の圧力も十分に上がっているぞ。タンクの水量もよし。」

徐々にスピードを上げ駅のポイントをゴトゴトと通過すると、まもなく踏切の信号がカンカンと鳴る。子供たちは「ワーツ」と声をあげて喜んでいる。いよいよ周回コースの最初のカーブを通過する。ここは二寸上り坂になっているので少しスピードを上げ一気に走り抜ける。勿論乗っている子供たちが外側に振られないように注意しながらだ。そこを過ぎると次は平坦な直線コースに入る。子供達の「ワ〜早いな、すごいな！」との歓声が後部乗用車両から聞こえてくる。

※ここで、当ミニ鉄道の生い立ちや現状について二寸お話をしましょう。

今から15年前「人の乗れる鉄道模型」に興味を持ち庭に一周約50メートルの線路を敷き「人の乗れる庭園鉄道」を趣味として始めました。(予算の関係上、勿論奥さんの了解を得た後です。大変でした！)その後、孫達とも一緒に楽しむようになり手作りのミニ電車を増やし線路も延長し信号等付属設備も設置し楽しんで来ました。

その様な折、10年前に友人達から「もっと多くの子供達にも喜んで貰えるように公開の場で走らせてみては？」と肩を押され、それならばと新たに移動設置用の線路や運搬の為にトレーラーを購入し、ミニSLや手作りのミニ新幹線車両も増車し地域貢献活動の一つとしてイベント等で運行する様になりました。

その後、この活動をより充実させる為各車両を「ミニSL号」と緑色系の新幹線「はやぶさ号」赤色系の「こまち号」の3編成に連結整理し、さらに奥さんが駅長、私が運転士という二人だけの体制で「信夫の杜鉄道」を立上げ現在に至っています。

運行は毎年福島市を中心に県内で年十数回実施しています。これ迄幸い



にも運行予定は一度も休まず勿論事故も無く子供達に多いに楽しんでもらっています。私達夫婦にとってもミニ鉄道運行の予定がある事によって健康に留意し体調管理には従来以上に注意する様になって大変良い事だと思っております。

さて、話を戻します。「シュッシュッ」と頑張つて走っているミニSLはいよいよ直線コースを過ぎ最後のカーブに入る。このカーブは少し下り坂なのでブレーキを掛けながら子供たちの動きに注意して走る。そしてカーブを過ぎるといよいよ終点の乗降駅に到着だ。駅の信号は1番線に「新幹線はやぶさ号」が発発を待つ待機中の為、2番線への進入を赤色で指示している。スピードを落とし切替ポイントをゴトゴトと過ぎて指示通り2番線に入線しゆつくりと停車。子供達は運転士さんに「有難うございます」と言つてミニコしながら降りていく。

その後、今度は1番線の「新幹線はやぶさ号」が発車ベルが鳴ると同時に「ブー」と警笛を鳴らし子供達を乗せてゆつくりと走り出す。

この様にして、イベント当日のミニ鉄道運行が始まります。これからも子供達の笑顔に元気をもらいたい妻と二人三脚で体の続く限りこの様な地域貢献活動を続けたいと考えております。会場で私たちを見かけたら是非声を掛け応援して下さい。お待ちしております。

\*元国鉄マンの小原さんはご自分も奥様との旅行を楽しんでおり、ここ数年で、アメリカ、ポルトガルそして昨年はエジプトに行かれました。ミニSLの運転も堂に入っていますね(院長)

## 川柳箱より(短歌、俳句、川柳、詩など)

蒲倉琴子さん(福島市松川町)

俳句

春の鶯空をなぞへに声残し  
菜紐きつちり袂む目借時  
何となく空のざらつく桜蕊

令和2年松川俳句会賞句

夕暮れを灯さずにある一葉忌

\*目借時は初夏の季語でカエルが人間の目を借りるために眠くなる時期をさすのだそうです。勉強になりました。(院長)

亀岡さだおさん(福島市天神町)

川柳

川柳友の会入選作より

育毛にあの手この手のコマーシャル  
嫁が来るこれから過疎は祝い酒  
同期会最後は締めのならり酒  
揺れだすと逃げる身構え板につく  
失恋で女の噂運ぶ風

福島民友新聞創刊100周年記念川柳大会優秀賞

脛かじり左ハンドル風を切る

\*亀岡さん91才、ますます盛んです(院長)

佐久間登知雄さん(福島市上鳥渡しのぶ台)

俳句

満開の仰ぐ枝先蒼をさす

\*当院に向かう途中、荒川クリーンセンター付近の満開の桜の枝が青空を刺しているように見えたそうです(院長)

受診終え橋から仰ぐ雪うさぎ

\*診察を終えホットしての帰途、吾妻山の雪うさぎからも「大丈夫だよ」と言われたように感じたそうです(院長)

\*佐久間さんは初登場です。これからも素敵な句をお待ちしています(院長)

木下敏久さん(福島市北中央)

川柳

マスクした十万いばい歩いてる

メディアではコロナと音楽ばかりなり

店あさりうまいラーメン命がけ

\*木下さんも感性がなかなか鋭いですね(院長)

## ガーデンK&F花だより

新型コロナウイルスにも負けず今年もバラの花は美しく咲き、藤棚には初めて藤の花が咲いてくれました。



淡紫色の花穂がたくさん付きました。



たくましく咲いてくれました。

# 医院からのお知らせ



## 【令和2年の市民検診について】

6月号の市政だよりでは『新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間は検診を実施できません』とありましたが、5月22日にはその宣言も解除され、集団検診・胃がん検診以外の検診が実施できるようになりました。

その為、当院でも昨年同様6月より各種がん検診とメタボリック症候群に的を絞った特定健診(特定健診は一部4月より)が行われます。

【令和2年6月1日(月)～10月31日(土)】

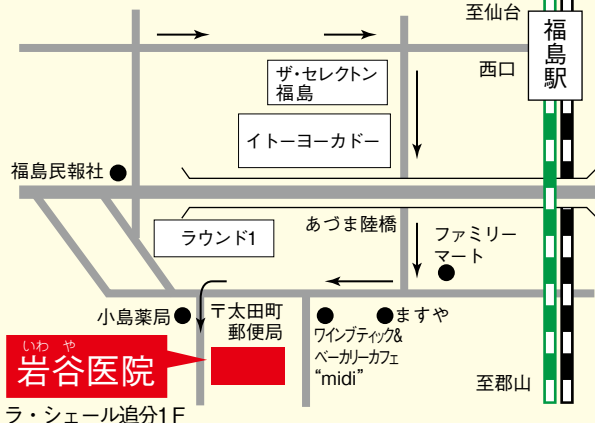
特定健診・後期高齢者健診内容については前年度とほぼ変わらないということで、定期的に当院に通院し、薬を服用されている患者さんに対しては、少なくとも6ヶ月に1回は一通りの血液検査を行い検査結果を説明し、指導を行っておりますので、特定健診用の血液検査は特に必要ないと考えております。

各種がん検診については、当院では大腸がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診について検診可能です。ご希望の方は保険証と受診券を持参頂き、診察医師または受付にお申し出下さい。また、他院での検診を勧めておりました胃がん検診につきましては、コロナウイルスの影響により当面延期をしております。状況によって中止する場合があります。開始の有無については8月末あたりになるということで、市政だより9月号でお知らせするとのことです。

検診については完全予約となっております。前もって問診票の記入が必要となりますので、受診券・保険証を持参し、医師または受付にお申し出下さい。

なにかご不明な点がありましたら、お気軽に受付にご相談下さい。

【※検診末月になりますと、検診受付が出来ない場合もあります。ご希望の方はお早めに予約をお取りいただくようお願い致します。】



【福島駅西口より 徒歩7分】

〒960-8068 福島市太田町17-27ラ・シェール追分1F  
 でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★診療時間(予約の方が優先されます)

平日(木曜日を除く)は 午前9時～12時 午後2時～5時30分  
 土曜日は 午前9時～午後2時(昼休みなしで診療いたします)  
 休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★診療項目

内科疾患・循環器疾患・動脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など

# 患者さんのコーナー

## 「盆栽コレクション」 福島市矢剣町 Mさん

\*新型コロナウイルスの感染拡大でつらい日々の中、訪れた患者さんが花を見て少しでも喜んでくれればと、Mさんは花が咲く盆栽を選んでそっと置いて行かれます(院長)



ヒメリンゴ ゴヨウマツ エゴノキ アジサイ



紅梅 桜

## 素晴らしい日本文化を受け継ぐ『しめ縄と門松』

福島市岡部 大槻周蔵さん



\*大槻さんは知る人ぞ知るキュウリ作りの名人ですが、しめ縄、門松作りも名人です。写真のしめ縄は大槻さん一人で作ったもので、「当木馬頭観音」に奉納され、門松は「当木ことぶき会」の皆さんと一緒に作り、当木町会集会場に飾られました。(院長)



写真上:最前列左から3番目に大槻さん

写真下:最前列右から2番目に大槻さん

## あとがき

福島県の新型コロナ感染者は6月8日まで31日間連続ゼロを達成して、少しほっとしていますが、東京は緊急事態宣言が解除されてからも感染者数に大きな減少は見られず、東京アラートが出されるなど予断を許しません。世界の感染者数も増加している現状を考えると、これからはコロナウイルスとの共存を本気で考えねばなりません。気を抜かずに行けることを継続していきましょう。